

奈良県山の日・川の日

「山もい・てんこ森」イベント報告

太田 和則

7月17日、いつもながらイベントの心配事は、天気のこと。2～3日前から蝉の鳴き声が増えたので、梅雨明けしたのでは！と先人達は蝉の鳴き声で判断。これに関しては気象庁より蝉の鳴き声の方が当たっているかも。おかげで当日は曇り空ではあったが、それほど暑くもなく快適といえるイベント日和の一日であった。

場所は、昨年の開催地吐山の県立野外センターから、山添村のフォレストパーク神野山に移し開催されました。

海のない我が奈良県では、平成26年に「第34回豊かな海づくり大会～やまと～」の大会理念、「山は川を育み、川は海を育む～山・川・海の自然の恵みを未来に～」の継承・普及を目指す実行委員会のイベントの趣旨に賛同し、今年も女性6名、男性8名の14名で参加。来場者にはならやま産の竹製ブンブンゴマとジュズダマブレスレット作りを愉しんでもらい、作品は持ち帰っていただいた。



今年のお客様第一号はお父さんとお嬢さんの仲良し親子。楽しそうでしたな・・・！出足は呼び込みをしないといけないほどでしたが、その後順調に来客があり予定の100セットが昼過ぎになくなり、予備に持って行った物を補充。結局、ブンブンゴマ150個、ブレスレット170個を消化することとなった。



大変忙しい割には余裕をもってイベントを遂行でき、その上楽しむことができた。おかげで周りの出店団体の方ともいろいろお話をし、情報の交換を致しました。(下記は他団体ブース)



(杉板の透かし彫り体験) (鮎の塩焼き)

その他、花の苗プレゼント、クイズで柿ゲット、どんぐり笛、本箱作り、蝉笛と22のブースで展開され、楽しめた一日であったと思います。来客だけでなく、参加した団体の皆さんも一緒に楽しんでいるように見えました。イベントの材料など事前の準備や、又、来場者のお世話をさせていただいた方々、大変お疲れさまでした。

